



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

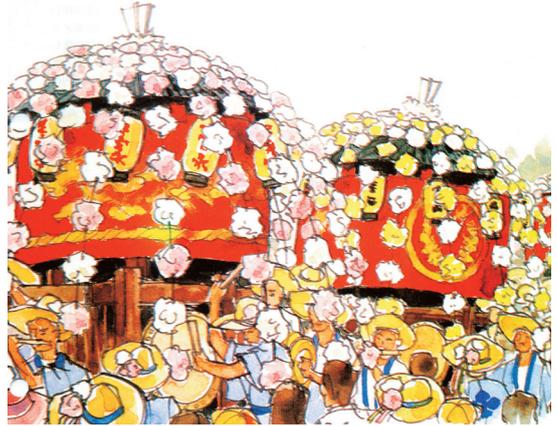
e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1012回例会 平成23年2月10日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「 Bangladesh 図書館建設」
実行委員会 委員長 中家章智氏

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「中津市ふれあい出前講座」
(新) 中津市民病院の概要



前回(1011回例会)の記録

平成23年2月3日(木)

■ゲスト

「やかた田舎の学校」
部長 屋形 徹氏

■ビジター

瀧 満君 (中津RC)、
山本洋一郎君 (中津RC)

■出席報告

会員数 26名
免除者数 1名
対象者数 25名
本日出席者 24名
欠席者数 1名
出席率 96.00%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 4名
メイクアップ 0名
欠席者 4名

修正出席率 83.33% → **83.33%**

●メイクアップ

●欠席者

土居、出納、江淵、小野

◎ロータリーソング 君が代 奉仕の理想

◎会長の時間 会長 青木秀暢

先日なにげなくテレビをみていましたら、芥川賞、直木賞の受賞者の発表をされていて、今年度の芥川賞、受賞者に朝吹真理子さんの「きことわ」との発表がされた時に、私自身があれと思ひまして、「朝吹真理子」慶応大学の大学院生との事で、めずらしい名前ですのでもしかしたらと思ひまして調べましたらやはり私が思った通り先祖が耶馬溪町出身の福澤諭吉門下生の「朝吹英二」のひ孫であり、中津市出身と言うだけで、まだまだ中津出身の人も捨てたものではないなと思ひ、久しぶりになんとなく心地よい気分になりました。



◎幹事報告 幹事 土居孝信

- 例会変更 別府、別府北、別府東、別府中央、大分、大分東、大分臨海、大分中央、大分1985 (各RC)
- 週報受理 佐伯、仙台平成、中津、杵築

●報告事項

- ・ロータリーの友2月号届く
- ・ロータリアン誌届く
- ・RIより2009～10年度年次報告
- ・2/28 周年式典、地区大会登録料引き落とし
- ・向笠会員、中津市民病院入院
- ・4/17 3クラブゴルフコンペ開催



◎例会の食事メニュー

天井御膳





◎委員会報告

・クラブ広報委員会 大和委員長

恒例により、簡単にロータリーの友の紹介をします。表紙は知床の流水だそうです。

今回は今までで一番嬉しい紹介の時間になりました。昨年、清浄園との交流会の記事を投稿していたのですが、今月号のP28,29のRotary at work 文章編に掲載されています。

写真は、出納会員が児童に語りかけておられる感動的なシーンです。私が気に入っている写真です。

実は投稿した翌月に掲載されなかったのが、ボツになってしまったと思ってました。やっぱりゴーカートでなく万人受けするパットゴルフの少女達の記事にすべきだったかなと反省しておりました。

今回、もしかすると昨今のタイガーマスクの追い風で「児童養護施設」に編集委員の関心が高まり、急遽繰上げ当選ならぬ掲載される事になったのかもしれませんが。

2月は世界理解月間という事で、海外クラブの例会へ出席をする為の特集が掲載されています。

外国に行かれる方は是非ご一読頂き、「海外クラブ出席」に挑戦して頂きたいと思っております。



- (4) 延べ床面積 722.08㎡
- (5) 交流施設 645.91㎡
 - 1階 364.36㎡
 - 2階 281.55㎡
- (6) 体験施設 52.99㎡ (体験、自炊)
- (7) 屋外便所 23.18㎡
- (8) 多目的広場 1,380.00㎡

第2 施設運営のコンセプト

1 施設の目的

本施設は、平成15年3月に閉校した「旧屋形小学校」跡地を都市と農村の交流施設として活用し、都市住民と地域住民が農業体験等を通して交流活動を行い、都市住民のやすらぎや憩いのある余暇活動に寄与するとともに、農業及び農村に対する理解を促進し、地域に活力を醸成させ、もって地域住民の文化と生活の向上、地域農業の振興と農村の活性化を目的とする。

2 施設の運営方針

閉校した旧屋形小学校は地域のシンボルであり、閉校によって地域住民の活力低下が懸念されることから、小学校跡地を「都市と農村の交流施設」として活用することが活力を生む一番の方法だと考え、その手法として以下のとおりグリーン・ツーリズム事業を展開する。

- ・地元産「そば」を素材とした「そば打ち体験」、「そば料理の普及」などそばの拠点施設としてグリーン・ツーリズム事業を展開する。
- ・郷土料理の伝承や新たな郷土料理の発見など(スローフード)を実践する。
- ・交流施設での地場農産物の提供による生産拡大を図る。(米、そば、野菜、椎茸など)
- ・農事組合法人やかた村との連携により都市住民を対象とした「農産物の産直」を行う。
- ・ふるさとを離れた、旧屋形小学校の卒業生にふるさとを再認識してもらうための施設として利用する。

第3 施設の管理・運営体制

1 施設の管理・運営体制

本施設全体の管理・運営は、「中津市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例」に基づき、中津市と管理協定を締結する指定管理者が行うものとする。

指定管理者は、本施設の性格及び機能から、公募することが適さないと考えられるため、市が認定した屋形地域協議会が管理するものとする。

第4 施設の利用計画

1 主要施設の利用方法

- (1) 交流施設 食堂定員
研修室A 男女浴室
和室A・B・C・D
- (2) 体験施設
- (3) 多目的広場

2 施設の運営日

- ・毎日(但し、8月を除く毎月第3火曜日(祝日等の場合は翌日)を除く)
- 3 やかた地区交流拠点施設料金表

・宿泊料金

- 3歳未満無料
- 小人(小学生以上)1,575円 大人(中学生以上)2,625円
- ・施設料金(施設のみを使った場合)
和室525円/時間 研修室1,050円/時間
体験施設※1,525円/時間



◎ニコニコボックス 担当:奉仕プロジェクト委員会

◎土居幹事

二週連続で欠席しました。申し訳ございません。今日は節分ということで、早く暖かくなることを願っています。



◎小路会員

最近、健康検査を受けました。各項目多岐にわたって受診しましたが、全く異常がありませんでした。ただ足のほうが弱ってきています。会の皆さんにはいろいろとご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、よろしくお願ひいたします。



◎長野(修)会員

来週、私の息子が韓国の高校を卒業します。私も韓国に行つてまいります。



◎ゲスト卓話

「やかた田舎の学校」

部長 屋形 徹氏



第1 施設の概要

大分県中津市本耶馬溪町屋形地区のシンボルであった本耶馬溪町立屋形小学校(当時)は、平成15年3月末をもって閉校となり、閉校によって地域住民の活力低下が危惧されている中、学校を残したいという地元の意向が尊重され、閉校を機に発足した「屋形地域協議会」が跡地利用方法の検討を行うため、地域住民を対象としたアンケート調査等を参考に検討した結果、都市と農村の交流拠点施設として生まれ変わりました。

施設の概要

- (1) 施設の名称 中津市やかた地区交流拠点施設
(愛称:やかた田舎の学校)
- (2) 所在地 中津市本耶馬溪町東屋形510番地
- (3) 敷地面積 3,076.5㎡